

2010年4月



2011年4月



2012年4月



ちかい

1.海のような 広い心で団結し  
すべての人を 友とします。

2.からだを鍛え 心をやしな  
りっぱな 海の子になります。

2013年4月 この年は第51回全国大会で、大田区団を挙げて活躍を致しました。



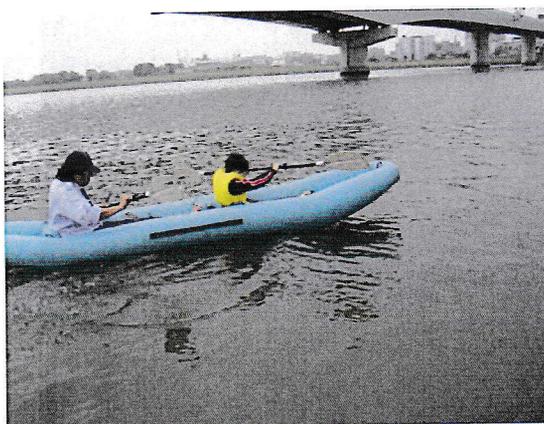
## 親子体験教室の記録（広報・増員活動）

大田区海洋少年団では、毎年5月から6月に掛けて団員募集と広報活動の一環として、大田区内の小学生とご父兄の皆様に対して、団のホームページの他に「おおた区報」等を利用して、【親子体験教室】への参加を呼び掛けております。

- ・初めてロープを結ぶ参加者とお母さん。
- ・お兄さん達と、カッターを漕ぐ参加者。



- ・カヌーで大師橋の下を漕ぐ参加者。
- ・一番人気があるヨットの体験。



- ・ひと休みする参加者と艇員たち。
- ・団員のカヌー、デモンストレーション。



この【親子体験教室】では、海洋少年団員の基本動作・手旗訓練・ロープの結び方など日常訓練の他、実際にカッターボート・カヌーを漕いだりヨットの乗艇を体験して、海の素晴らしさと海洋少年団の訓練を、間近に体験して戴く催しです。

参加者には、救命胴衣の着用など安全対策を講じた上で、経験の長いベテランのOBが多数参加し、夫々の体験には専門家が指導致します。

また、大田区団ではカッターボート2艇・ヨット2艇の他、カヌー3艇などを多数装備して、都内団の中でも恵まれた環境で活動しています。

海上訓練の装備は、訓練海域の大師橋下に近い、「日本海洋レジャー安全・振興会」が管理する棧橋及び、艇庫にて保管していますので安心です。

・多摩川の大師橋周辺で、親子体験教室前のチェックを実施中のリーダー・OB。



これらの、各部門を担当するリーダーは、全て大学・クラブ等で専門の訓練を受けた指導者と、OSF会（大田区海洋少年団・卒団者の会）が担当し、陸上の運営本部と密接な連絡の下に、慎重且つ安全に実施しています。

今後とも、この【親子体験教室】を、益々魅力ある充実した内容とする為に、各方面からの応援とご協力をお願い致します。

## 観閲式に参加

2012年（平成23年）6月、前年に東日本大震災が発生した為に、被災地に派遣されている艦艇を除き、東京湾羽田沖海域に於いて、海上保安庁を中心とする「観閲式」が実施されましたが、数少ないチャンスに招待され、大型巡視船である、受閲艦「やしま」に乗船しました。

- ・巡視船「やしま」乗船前に記念撮影。
- ・たくさんの収容能力がある後甲板。



- ・受閲艦の前を通過するPL型巡視船。
- ・救助訓練で着艦したヘリコプター



- ・PS型 小型高速巡視艇。
- ・東京消防庁の消防艇も参加しました。



- ・日本連盟名誉総裁・高円宮妃殿下が、巡視船やしまに乗船され、観閲式にご臨席。船上で、海上保安庁音楽隊の演奏をお聞きになりました。



- ・大田区団音楽隊（日本連盟音楽隊）は、出航前に晴海ふ頭の巡視船「やしま」を背景に演奏し、海上保安庁音楽隊と交流演奏をしました。このように、音楽隊では各種の行事での演奏り他、各団体との交流によって演奏技術の向上を目指しています。

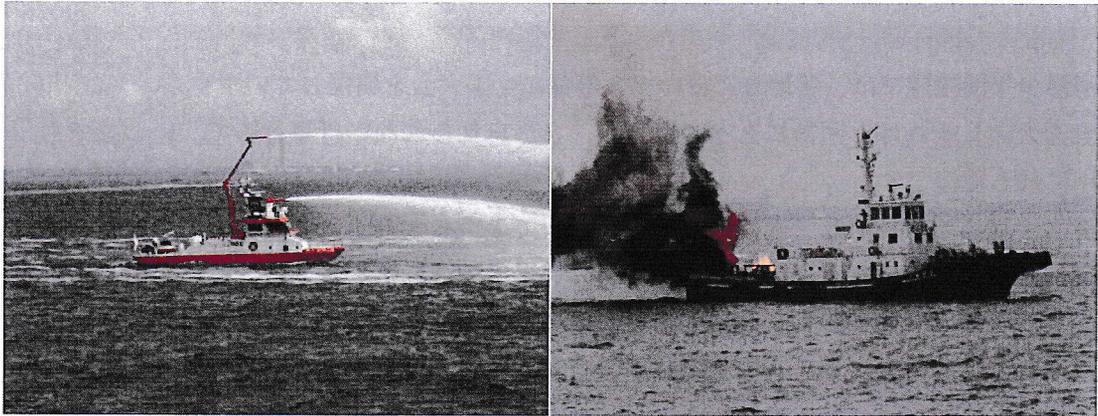
- ・晴海ふ頭で演奏する音楽隊。



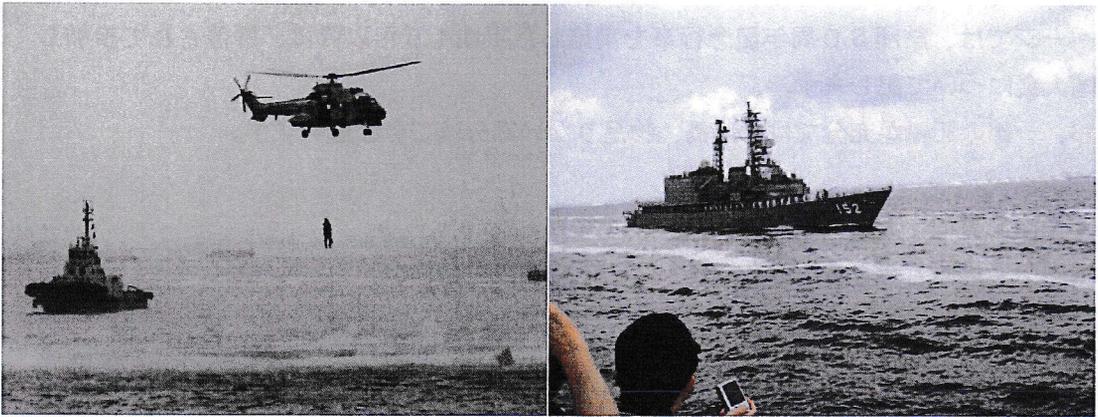
- ・「やしま」船上の海上保安庁音楽隊。



- ・放水して消火する、消防艇と黒煙をあげる模擬火災船。



- ・海上の遭難者を救助する海保のヘリ。
- ・観閲式には自衛艦も参加しました。



大田区団は、一緒に乗船した都内団の団員と共に、巡視船上で見学に訪れた人に対して、水難救済事業の「青い羽根・募金」を実施しました。

「やしま」には、日本海洋少年団連盟名誉総裁をお務めで、水難救済会の名誉総裁をも兼務される高円宮妃殿下が乗船されましたが、「青い羽根募金」にご寄付を戴き、団員たちと写真に収まって下さいました。

- ・団員たちとご一緒の高円宮妃殿下。
- ・船上で募金中の、亀元・安藤両団員。



## 全国大会の記録

日本海洋少年団連盟では、各地方に於いて2年毎に全国大会を開催しています。

【全国大会】それは、団員にとって憧れの、また忘れられない行事として、いつまでも思い出に残る記憶です。

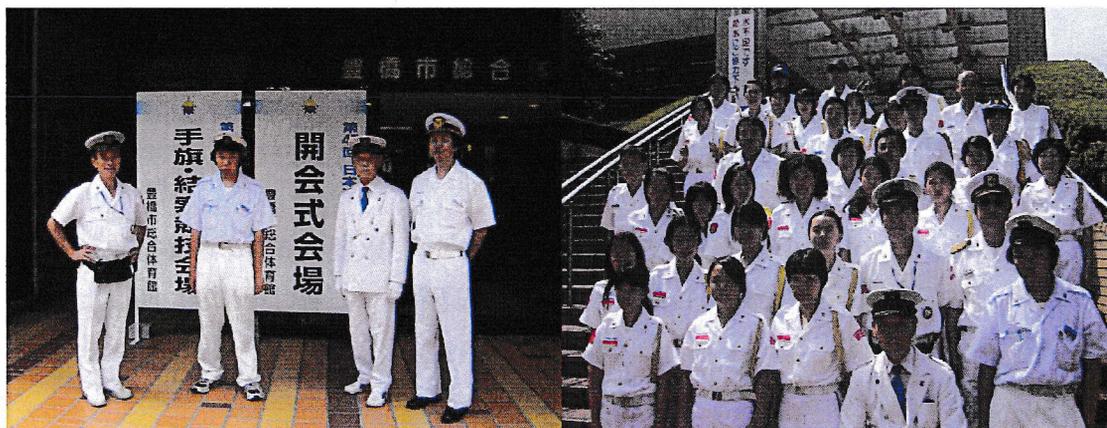
筆者も、初めて参加した「巡視船・宗谷」船上での第5大会、大会歴史上初の幕営自炊にて参加した第8回伊豆大島大会では、台風の通過後で荒れた海を満員の船室ではなく、当時の東海汽船「菊丸」船長了解のもとで、甲板にテントを張って就寝したほか、自炊の食事は当時の佐藤隊長（現・音楽隊長）が担当するなど、現在の大会では「ありえない」珍談奇談が、走馬灯のように浮かんで参ります。

その後、開催都市の様々な理由により、全国大会の開催が2年に1度となりましたが、このページでは、結団50周年記念行事を実施した平成15年以降に、開催されて参加した全国大会について記します。

なお、一部の記録が充分ではない為、物足りない部分はお容赦願います。

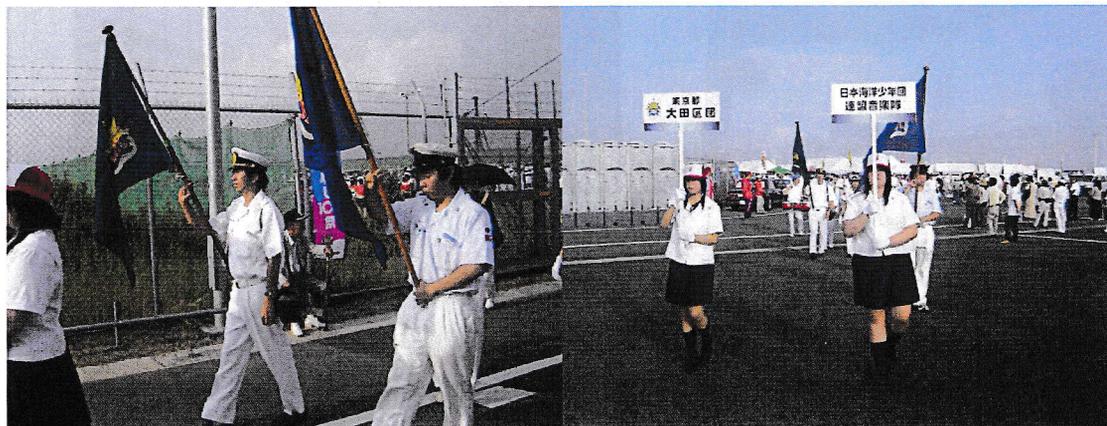
### ☆第47回・豊橋 大会（2005年・平成17年）

会場前で、都連石井会長・安藤団長。 音楽隊も勢揃い。



市内パレードに出発。

日本連盟音楽隊とパレード。



☆第48回・千葉 大会 (2007年・平成19年)

高円宮妃殿下をお迎えして演奏。



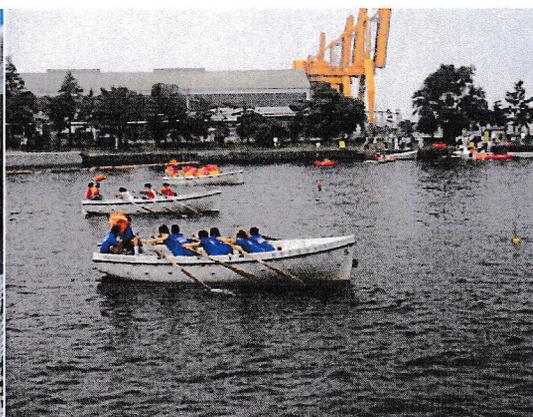
市内パレードの代表行進。



カッター会場、熱気にあふれます。



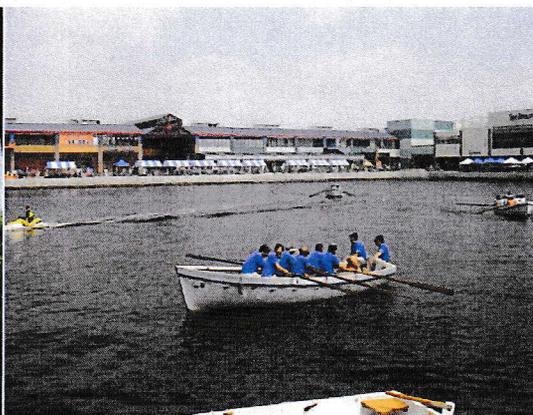
全国大会の花形、カッターレース開始。



本大会では、エキジビジョン・レースとして、各団OBの特別参加がありました。大田区団では、沼津港カッターレースの覇者、OSF会クルーから2チームが参加。レース結果は別として、大田区団OBの存在感をアピール出来ました。



お揃いのユニホームで待機中のチーム。



スタートに備えるOSF・Aチーム艇。

☆第49回・松山 大会 (2009年・平成21年)

羽田空港で結団式を終え、整列する派遣団と見送りのご家族。

亀元兄・妹団員にとっては、祖父母が待つ故郷への旅立ちです。(あっ、ホント！)



親元を離れて、各地の見知らぬ仲間たちと競う為か、少し緊張ぎみの団員たちです。  
見送りの、お父さん・お母さんは、チョッピリ心配かな。  
よ～し、ボクだって旗手で頑張るぞ～。



松山についてホッと一息。  
あっと言う間に到着、旅の疲れゼロ。



静かな瀬戸内、みんな元気で～す。  
海の子は、船酔いなんてしないのです。